

学校の教員からみた 個人情報の扱いに関する整理

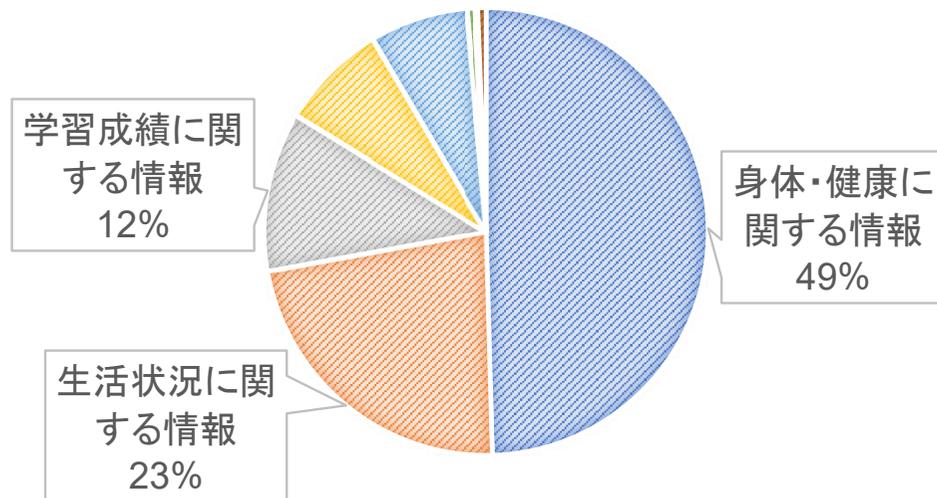
教育データの利活用に関する有識者会議
第9回資料 2022.5.31

奈良教育大学 教職大学院
学長補佐 小崎誠二

教員を対象としたアンケート（2017.6～2019.9 1021名）

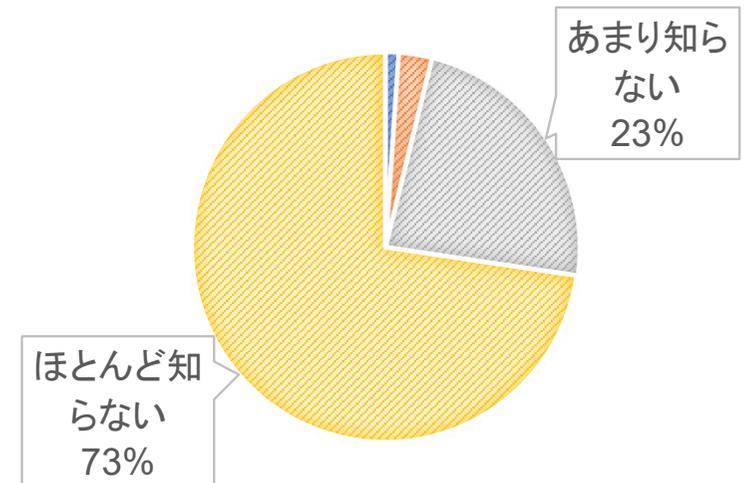
Q 学校にある個人情報で特に重要だと思うものを2つ挙げてください。

- 身体・健康に関する情報
- 生活状況に関する情報
- 学習成績に関する情報
- 生徒指導に関する情報
- 学籍に関する情報
- 進学に関する情報
- 学習成果に関する情報
- その他



個人情報保護に関する法律や教育情報セキュリティポリシーの内容について

- よく知っている
- それなりに知っている
- あまり知らない
- ほとんど知らない

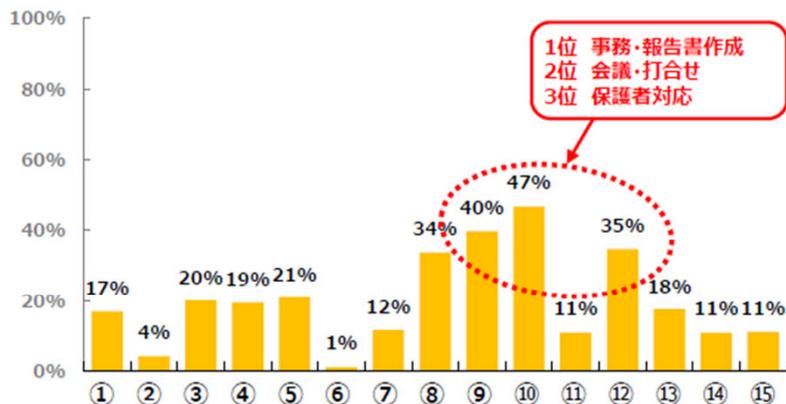


負担感がある・減らしたい活動

負担感がある	1位	事務・報告書作成	2位	会議・打合せ	3位	保護者対応
	1位	事務・報告書作成	2位	会議・打合せ	3位	保護者対応

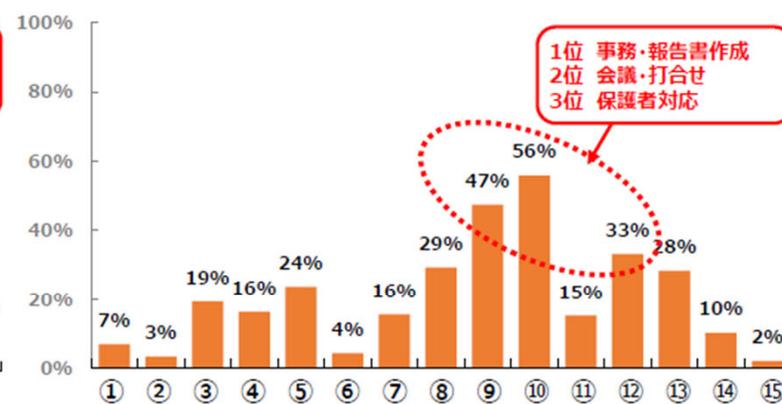
負担感がある業務

Q. 授業以外で、負担を感じている活動を上位3つまでお答えください。



時間を減らしたい業務

Q. 負担や時間を減らしたいと思う活動をすべてお選びください。(いくつでも)



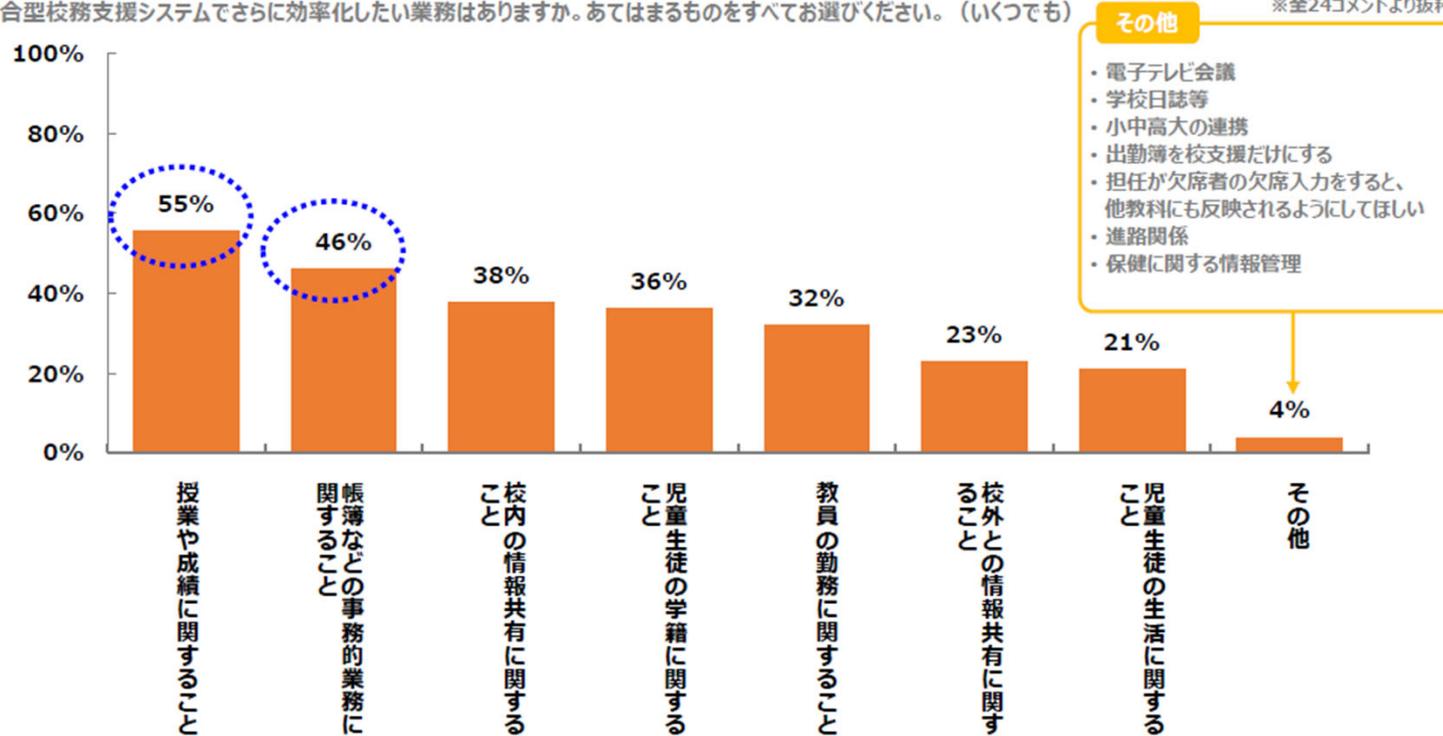
- ① 授業や学級活動の準備（教材研究等）
- ② 学習に関する指導
- ③ 評価や成績に関すること（採点等を含む）
- ④ 生活指導・生徒指導
- ⑤ 部活動・クラブ活動の指導
- ⑥ 児童会・生徒会指導
- ⑦ 学年・学級事務（連絡帳の確認、学級通信等の作成等）
- ⑧ 学校経営（校務分掌に関すること）
- ⑨ 会議・打合せ
- ⑩ 事務・報告書作成
- ⑪ 校内研修
- ⑫ 保護者対応
- ⑬ PTA・地域・行政・関係団体対応
- ⑭ 校外出張
- ⑮ その他

統合型校務支援システムで効率化したい業務

- 授業や成績に関すること 55%
- 帳簿などの事務的業務に関すること 46%

Q.統合型校務支援システムでさらに効率化したい業務はありますか。あてはまるものをすべてお選びください。(いくつでも)

※全24コメントより抜粋



統合型校務支援システムの活用について

Q.校務支援システムについて、ご意見やご要望がありましたら自由にお書きください。

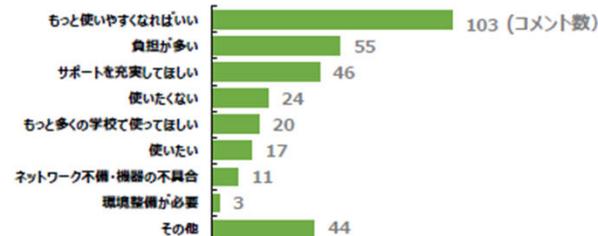
※全323コメントより抜粋

小学校

- ・ クラウドの活用など、必要な時には校外でも仕事ができるようにしてほしい。
- ・ 誰にでも扱いやすいものを期待する。
- ・ 県の全ての公立学校での導入がなければ、意味がない。導入するのであれば、**早期にお願いしたい。**
- ・ 異動先でスムーズに使えるよう、より一層早く全学校で導入を進めてほしい。
- ・ 本システムには可能性があり、利用すれば利用するほど有用感が増すように感じている。
- ・ **是非進めてください！ただ進める側の人間はかなりしんどいと思います！その配慮が学校で必要かと！**
- ・ 積極的に活用していきたいと思います。出席簿だけでも、かなり時間の削減になっています。
- ・ 作業を効率よくできるものがあれば、**どんどん推進してほしい！**
- ・ パソコンが得意な教員にとっては大変便利であるが、パソコンが苦手な教員にとっては、**大変ハードルが高い。**
- ・ 古いパソコンだとすぐ固まってしまうので**パソコンの機能も上げる必要がある。**
- ・ なんでも画面で処理しようとするあまり、**教員通しのコミュニケーションがなくなっている。**

中学校

- ・ 生徒に配布する学習成績などのデザインの編集ができるようになれば良いと思う。
- ・ 学校ごとの**代表者が集合して研修する機会**を多く持ち、それを学校に持って帰り、広めていく必要があると思います。
- ・ 導入するなら**県下一斉に導入**してほしい。そうしないと使用することの効率化には結びつかないと思います。
- ・ 校務支援システムの導入による**負担が増えている**。まずは重複している事務処理を統合化し、同様の作業による負担を減らしてほしい。
- ・ つかいこなせるまでは、わかる人に聞かなければならなかったり、入力に戻って時間がかかったり、**負担に感じることも多い。**
- ・ 使い方についての、できるだけ**簡素な概要マニュアル冊子を作成**願いたい。
- ・ **全然支援になっていない**。使い方を知ったところで作業効率が上がったという実感が全く持てない。やめるべき。
- ・ メリットより**デメリットしか感じません。**
- ・ **セキュリティは大丈夫なのか？**また、情報の管理は適正にされるのか？



高校

- ・ 担任しか閲覧できない情報が多いので**副担任も閲覧**できるようにしてほしい。
- ・ 業務の効率化を図り、教職員間の情報共有を促進し、**教育の質を向上させるもの**であることを望みます。
- ・ 学期ごとの授業の欠課時数を、**自動でカウント**できる機能や**時間割変更を自動で処理**する機能があればとても役立つと思う。
- ・ **もっと**いろんな新しいことを導入していけばいいと思う。**新しいことをすることを億劫**にならずに、**どんどん取り入れていけばいい**と思う。
- ・ 担当業者が**頻繁に仕様を変更**してほしい。
- ・ 導入のメリットよりも、**負担感の方が大きすぎる。**
- ・ **ヘルプデスクの対応が悪い**。こちらの責任があるような発言や対応の遅さ。賢者については、システム自体に問題がありすぎる。ここでは書き表せない。
- ・ **現場を知らない者が作ったひどいシステム。**
- ・ **システムの障害が多い。**
- ・ 多くの人が一斉に使うと**処理速度が落ち、ストレスがたまる。**

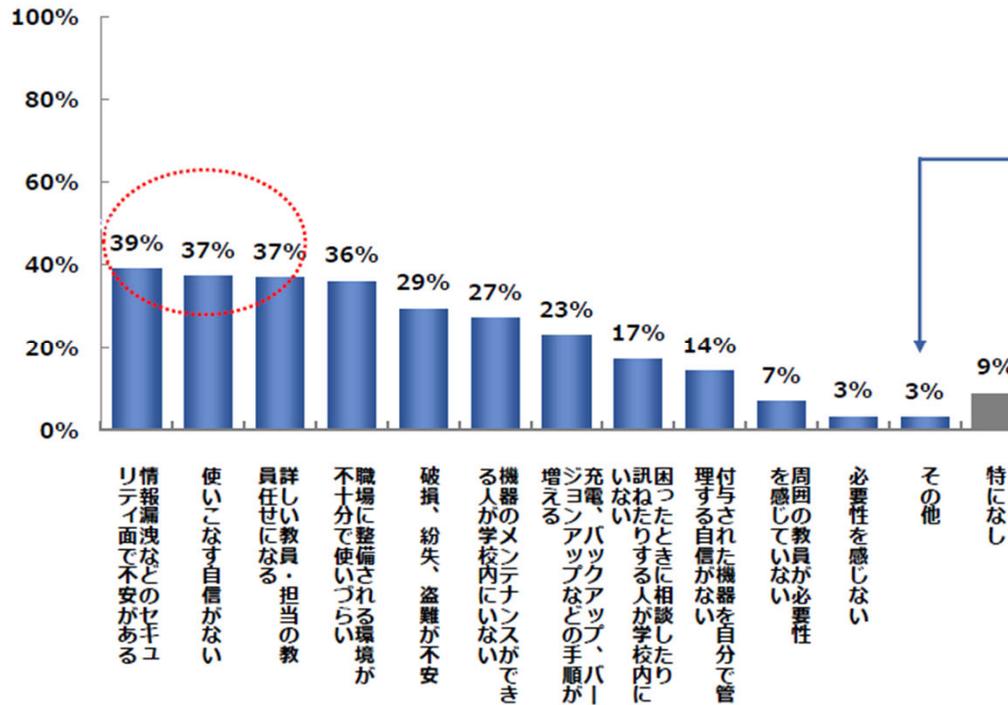
特別支援学校

- ・ **業務改善につながるもの**になってほしい。
- ・ **早く整備**していたたき、活用できるようにしてもらいたい。
- ・ 使いこなせるかどうかや、**変化のある動き**について行けるか**不安**。
- ・ 利用にあたり、**分かりやすい説明**があるとありがたいです。

ICT活用への不安

- 情報漏洩などのセキュリティ面で不安がある **39%**
- 使いこなす自信がない **37%**
- 詳しい教員・担当の教員任せになる **37%**

Q.学校教育情報化推進法が成立するなどICT環境の整備が推進されていくこととなりますが、学校でのICT機器の導入や活用について、困りそうなことや、活用が難しそうだと思うことがあればすべてお選びください。(いくつでも)



その他

※全107コメントから抜粋

【機器・環境の不十分さへの不安】

- 本当に必要な数が用意されるのか。中途半端にあっても無駄になるだけだと思う。
- 必要な児童数が配置されない。
- ハードだけで無くソフト面の充実が不可欠。
- メモリ不足により処理速度が遅すぎる。
- 職場の機器の性能がが使用用途に適していない。
- 制約が多く、使いづらい。許可がいる。

【負担増への不安】

- 余計忙しくなりそう。
- 活用の仕方を勉強し、使いこなすまで時間がかかる。
- 他の先生からのメンテナンスや相談・質問が増える。
- 特定の先生に軽微なトラブルの対処や質問が殺到し、その先生の仕事が滞る。

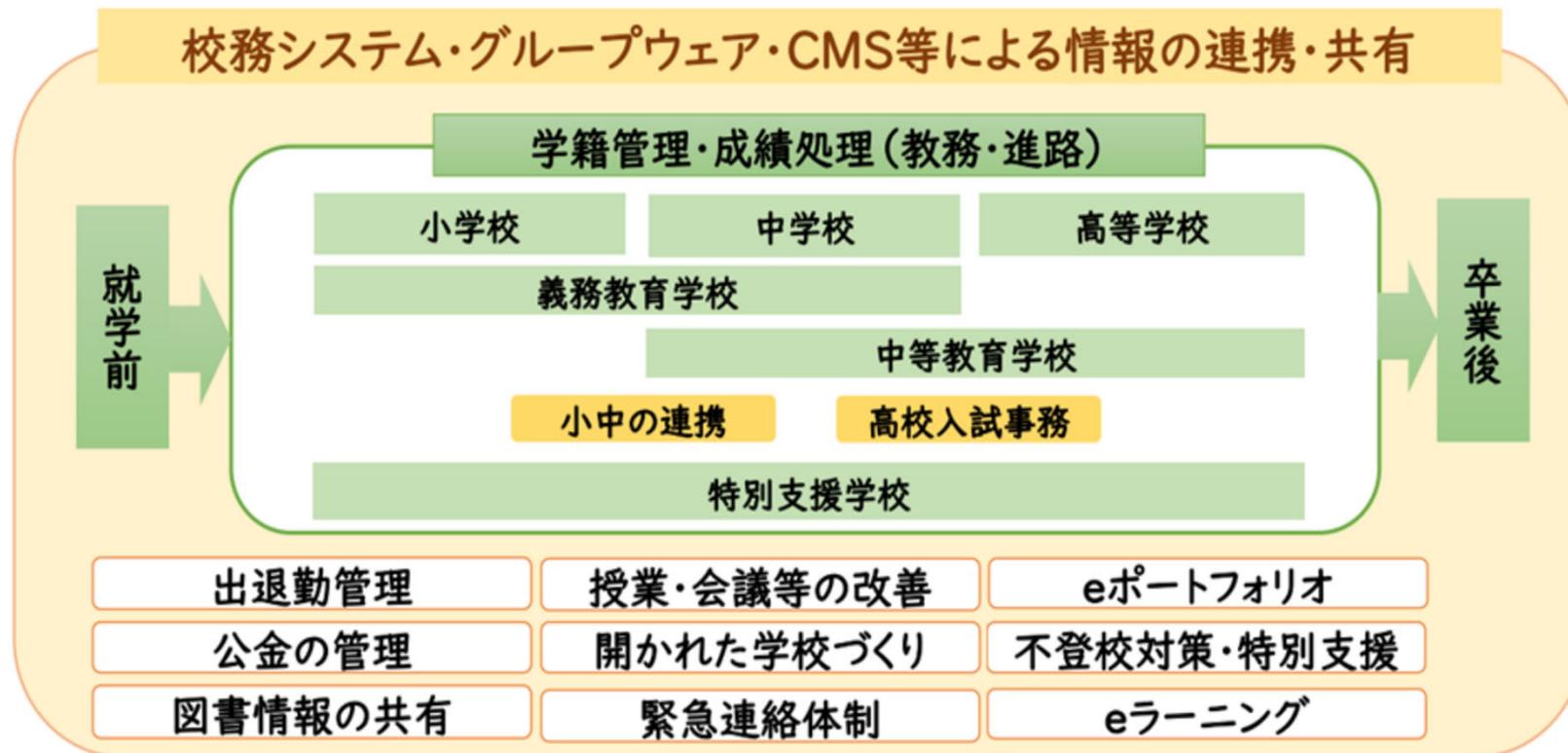
【予算への不安】

- コンテンツにお金がかかりすぎる。
- 機器の統一や今後の管理に費用がかかる。

【ICT化の流れへの抵抗感】

- 何でもかんでもタブレットなどに頼って自分で考えたり、想像したり、書く力がつかない。
- 教員のスキルアップする意識が低い。
- 授業でどのように使うのが有効かわからない。

国がGIGAスクール構想を発表する前に、奈良県が夢見ていたこと



自治体を超えた個人情報やりとり

1. ルール上可能なのか。(個人情報保護に関する法・規則等)
2. 物理的に可能なのか。(教育データの標準化)
3. 費用負担をどうするのか。(広域連携)

学校で課題となってきたこと

1. 個人情報とは何か
2. 個人情報保護の範囲
3. 個人情報の利用（システム・人・ルール）
4. 個人情報の管理

- ✓ 個人情報を、どのような目的で、何のために、どのように扱うかがあいまいなため、たとえば、姓名の「外字」を扱おうとすることにより情報のデジタル化が阻害されたり、情報が共有できないことで扱っている情報にかなりの重複が生じたりしている。
- ✓ 個人情報を厳密に扱う場合に、ルールやセキュリティに関する知識が不足しているために、旧来の経験に基づいた助言をそのまま受け入れたり、事業者に丸投げすることにより事業者の力量や考え方に左右され、過剰な対応や無意味な対策を講じようとしたりしてしまう。
- ✓ 人的にも物理的にも、外部との接触を極力避けることにより、子どもたちを守っているのと同じ感覚で、全ての情報を自分たちで抱えて管理運用しようとするために、扱う情報の増加とともに多大な負担が生じている。

学校でこれから生じる問題

1. 取り扱う情報の増加
2. 管理・運用のためのシステムの高度化
3. 情報共有による活用場面の増加

- ◆ 人的な問題
- ◆ 経費の問題
- ◆ 組織の問題
- ◆ 見通しの問題

（奈良県の先生の働き方調査の記述コメントより抜粋）

- ✓ 子どもたちの個人情報等がシステムで共有されることで、いいことにも使われるだろうが、悪用されることもあるだろうから、それが心配。情報を当事者の知らない間に知らないことに使われるとしたら、とても気持ちが悪い。
- ✓ 情報を活用して優秀な子を見出すことができたとして、一方で優秀でない子を生み出すことにもなるので、いいのか悪いのかわからないので、情報を外部に提供することが悪いことに手を貸すことにならないのかと考えてしまう。
- ✓ 私たちも勉強しながら、高度化に対応していかなければならないが、日々の準備に追われ、勉強する機会がうまくとれなくて悩んでいる。

こんなことができたらいいなと、教員が感じていること。（奈良県の先生の働き方調査の記述コメントより抜粋）

- ✓ 教室にタブレットを持ち込み、無線環境で出席がとれて、保健室とも即時共有ができる。
- ✓ 1台のパソコンで、授業での教材作成・管理も、テスト作成や成績処理も、どちらもできる。
- ✓ 違う学校とのデータ共有ができる。転勤してもそのまま同じシステムで継続して利用できる。
- ✓ 子育てや介護で時間がとられる人が申し訳なく思わないように、学校でなければできない仕事をなくす。
- ✓ 機器やアカウントの管理、アンケート調査などの事務的なことを教員以外の安心できる人に任せる。
- ✓ 個人情報保護や著作権のことなどをしっかり学んで身に付けて、子どもたちにも指導できる。

国や教育委員会で今後整理が必要なこと

学校教育の情報化の進展により、教育データのデジタル化が進むため、学校教育で扱う情報量の急激な増加が見込まれる。短・中・長期のビジョンを大きく示すとともに、教員・職員の業務の範囲の整理と、取り扱うデータの範囲について、実証の場や通知・ガイドブック等で早急に整理していく必要があるのではないかな。

管理・運用のためのシステムや通信技術の高度化により、専門的な知識を有する場面が増え、同時にリスクも高まっていく。学校組織で解決できる範囲を超えることが想定されるので、外部人材や組織との人的・物的なつながりが欠かせなくなる。学校のよりよいパートナーとして外部から関わるができるようにしなければならない。それを強力に促進する手立てを具体的に示すとともに、それにかかわる予算措置を実効性のある形で速やかに行う必要があるのではないかな。

社会における情報化がすすみ、日常生活においても学校教育においても、情報共有による情報活用場面が急激に増加している。不安・不足の解消やトラブルを未然に防ぐために、教員の研修機会やフォローアップを図ることが急務である。さらに、学校や教員をリードする教育委員会や担当者が疲弊しないために、広域でお互いを支え合うような仕組みの構築を促す具体的な枠組みづくりと、それを促進するための費用面での支援策が必要ではないかな。